

## 【 資料8 】

### 令和4年度 認知症初期集中支援推進事業活動報告

#### 1 認知症初期集中支援チーム

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の本人の望む環境で暮らし続けるために、複数の専門職（2に記載）が認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族に初期（最初の関り）の支援を包括的・集中的（おおむね6か月）に行い、自立生活のサポートを行う「認知症初期集中支援チーム」を配置し（令和元年 認知症施策推進大綱よりすべての市町村で実施）、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

#### 2 チームの構成メンバー

- (1) 東御市民病院：認知症サポート医、看護師（認知症看護認定看護師含む）、理学療法士、作業療法士、社会福祉士
- (2) 地域包括支援センター：保健師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、（認知症地域支援推進員含む）
- (3) 他事業所：介護支援専門員、認知症介護指導者

#### 3 活動内容（訪問、チーム員会議）

- (1) 認知症の対象者に関して包括的観察・評価に基づく初期集中支援を行うために訪問活動等を行う。初回訪問時は医療系職員と福祉系職員それぞれ1名で訪問し、本人の認知症症状の確認、専門的医療機関への受診や介護保険サービス等利用の効果に関する説明により対象者やその家族の心理的サポートや助言を行う。
- (2) 訪問結果に基づき毎月1回、サポート医を含めチーム員会議を開催し対象者に対して適切な医療及び介護サービス利用等の勧奨・誘導、認知症の重症度に応じた助言、身体を整えるケア、生活環境の改善などの内容について検討する。

#### 4 対象者の状況 16名（うちケース検討 3名）

人数		年代			
		60	70	80	90
男性	7	2	2	3	0
女性	9	0	4	5	0
合計	16	2	6	8	0

#### 5 世帯

高齢者世帯	独居	こどもと同居
7	5	4

6 介入時の認知症診断

有	無
7	9

7 把握ルート

近隣・民生児童委員	家族	ケアマネ	市の検診	包括出張相談
7	5	2	1	1

8 対応件数（延べ件数）

訪問	電話	医療連携	事業所連携	地域連携※
34	40	10	8	7

※区長、民生委員・認知症サポートー等と連携・事業について区や店舗へチラシを配布し周知

9 相談内容（延べ件数）

近所トラブル※	専門医受診	もの忘れ	閉じこもり	家族負担
11	7	9	2	2

※徘徊、妄想的な発言、警察に保護

10 介入後結果（延べ件数）

専門医受診	介護申請	包括地区担当引継ぎ	介護サービス利用	医療機関連携※	地域サロモン・カフェ	ケアマネ引継ぎ	施設入所
8	7	3	2	3	2	2	3

※医療受診時様子・通院なし等連携

11 年度比較

	チーム員会議	チーム員会議参加者数	新規数	終了数	対象者数
H30	4	35	5	3	7
R1	11	93	6	6	11
R2	8	51	6	5	11
R3	11	98	13	8	19
R4	11	106	8	10	15

12 振り返り・課題

- (1) 把握ルートとして近隣から民生委員を通じて地域包括支援センターに相談があり、そこから初期集中支援チームへと繋がっていくことが多かった。
- (2) 相談内容の中で本人や家族だけの範囲ではどうしようもないケースが多くあり、本当に困ってからではないと相談支援に介入出来なく、市民や関係事業所への周知が出来ていないと感じる。
- (3) 認知症の症状により苦慮しているケースも多いため、今年度はケース検討を多く取り入れた。  
担当ケアマネにも参加してもらいサービスの内容の検討等行った。

- (4) 介入時、認知症状の BPSD（周辺症状）なのか精神疾患の症状なのか判断がつかない場合があり、対応に戸惑うことがあった。対象者がスムーズに受診できるにはどのようにしたらよいか連携をしていきたい。
- (5) 介入後の結果から、介護サービスの利用のみでなく、インフォーマルな地域のサロンやオレンジカフェ（認知症カフェ）に繋がり自然なかたちで地域の中の一員として活動が出来、楽しみながら参加出来ている。今後、地域の中の活動場所を増やしていくことは必要なことだと感じる。
- (6) 介入したが介護サービスに繋がらず家族の負担は変わらないというケースもあるが、家族から「相談先があることがわかつただけでも良かった」という声が聞け、この事業をやる意味があるのかと思う。それと同時に「認知症」という悪いイメージが強く、人に言えない、話せない、相談できない環境が強いことがわかり、認知症についての啓発活動が必要だと感じた。
- (7) チーム員研修を年1回行っている。（4）の内容においてチーム員のスキルアップとなるよう、サポート医により勉強会を行った。